

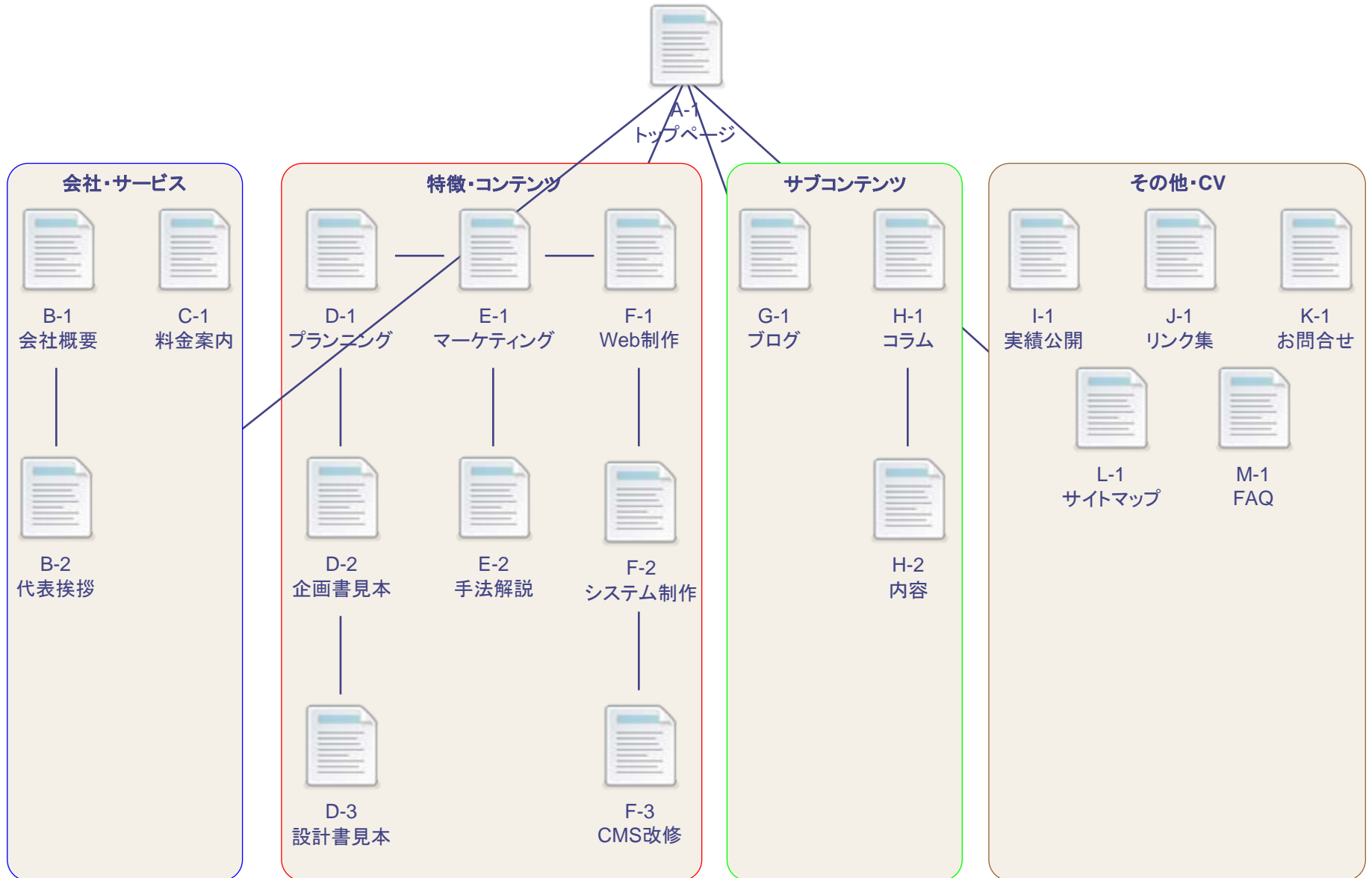
〇〇〇ホームページ仕様書

- 株式会社△△△

目次

- ・ 1.更新履歴
- ・ 2.構成図
- ・ 3.制作における基本事項
- ・ 4.画面設計の定義ルール
- ・ 5.各画面仕様・設計
- ・ 6.仕様書確定の合意

構成図



制作における基本事項①

制作するページ数

ホームページ制作にあたり、その総ページ数の上限を予め定めておきます。企画の検討が進行するほど、ホームページに対する要望が増えていくものですが、それらを無制限に加えていくと作業量も増え、納品が遅くなってしまいます。まずは当初の仕様とおりの制作を終え、期日までに公開をする必要があります。(ホームページは公開してからの継続的な情報の追加と更新が大事です。)

・本ホームページ制作においては、初期の総ページ数を_____ページ以内で設計します。

使用するWEBプログラム

ホームページには、単純なHTMLのみで動作するものとコンテンツ・マネジメント・システム(CMS)によって動作するものがあります。CMSにはムーバブルタイプ・ワードプレス・ズープスなどの種類があり、どのシステムを採用するかを明らかにします。

また、各種フォームや動画再生などの機能を設置するには、CGI・JAVA・Flashなどのプログラムを使用する必要があります、これらのWEBプログラムについても明らかにします。

・ホームページに採用するシステム: _____。バージョン: _____。
・フォームに採用するプログラム: _____。バージョン: _____。
・動画再生に採用するプログラム: _____。バージョン: _____。

制作における基本事項②

動作保証をするOSとブラウザ

ホームページを閲覧する端末は、PCの他にタブレットやスマートフォンなど多岐に渡っています。PCの場合には複数のOSとブラウザが存在し、そのバージョンも多くあります。タブレットやスマートフォンもOSがAndroidとiOSが存在しています。こうした複数の環境の中で正常な動作を保証する環境を明らかにします。また、複数の表示環境を自動的に判別して最適な解像度で表示するレスポンシブウェブデザインを採用するかどうかも明らかにします。

- ・サポートOS: Windows Vista・XP・7・8 マックOS9・X
- ・サポートブラウザ: Internet Explorer 8以降 Firefox 3.5以降 Chrome 3.0以降
- ・サポートタブレットOS: Android iOS
- ・レスポンシブウェブデザインの採用の有無 ()

制作期間と料金

ホームページの制作は、本仕様書の確定と別紙契約書の締結が出来てから着手となります。本件のホームページ制作の料金と支払い方法は次のとおりです。

- ・制作期間: 着手から _____ 日間。
- ・制作料金: _____ 円
 - (1) 着手金: _____ 円 (支払期限: ○○○○年○○月○○日)
 - (2) 検収終了後: _____ 円 (※検収の定義および支払い時期は別紙契約書に基づく)

制作における基本事項③

SEO

SEOとは検索エンジン最適化の略で、コンテンツの質を高める技術です。
検索結果で上位表示されたり、質の高さからソーシャルに情報が流れ、クチコミ効果も高まります。

- ・各タグの意味を理解し、正確に扱う事。<title><meta><h1>などは特に。
- ・HTMLの中にCSSを組み込む場合は長くなりすぎないように注意すること。
- ・重要コンテンツには基本的にFlashやJavaScriptを活用しないこと。
- ・ページ全体にリンクが行き渡るよう、リンク設計をしっかり行うこと。

効果検証・アクセス解析

ホームページは出来上がり、公開してからが本当のスタートになります。
アクセス解析は必ず設置し、効果検証によるPDCAサイクルを必ず実行して下さい。

- ・アクセス解析出来るように、設定を公開時点で必ず行うこと。
- ・効果検証がしやすいよう、目標地点、目標数などを設定しておくこと。
- ・コンバージョンページを明確に定めることが可能ならば、設定し、検証の材料とすること。
- ・その他、ユーザー定義が必要であれば専門家の意見も伺いながら、設定をすること。

制作における基本事項④

継続的更新サポート

ホームページは公開後に掲載する情報の更新を継続することで価値が高まっていくものです。ホームページの更新には一定の手間がかかるものであり、その更新作業を弊社がサポートするメニューをご用意しています。

・ホームページの継続的更新業務サポート 料金：_____円/月額 本メニューの契約有無(有・無)

(1)新規ページの追加(月間〇〇ページを上限)

貴社から原稿や画像等の資料を提供頂いたものを弊社が編集して投稿します。

(2)コンテンツ内容のコンサルティング

貴社が掲載した内容を精査し、閲覧者の反応率を高めるためのコンサルティングを実施します。

継続的運営代行

ホームページの運営を弊社が代行するメニューもご用意しています。

・ホームページの運営代行 料金：_____円/月額 本メニューの契約有無(有・無)

(1)新規ページの追加(月間〇〇ページを上限)

弊社より貴社を取材させて頂き、毎月の記事を投稿します。

(2)顧客とのメール対応の代行

(3)イベントやセールス企画のご提案と実施

(4)メールマガジンの発行代行

(5)SEOや広告のコンサルティングと操作代行

画面設計の定義ルール①

文章・文法構成

- ・HTML要素・属性には小文字で記述し、大文字は使用しないこと。
- ・img要素にはwidth,heightを必ず設定すること。
- ・””の記述漏れをしないこと。
- ・HTML要素は文書構造を示す為だけに使用し、整形する為には使用しない(b,i,centerなど)
- ・基本的な構造、整形はCSSを使って行い、また過剰な全体適用は避けること(bodyタグに適用)
- ・クラス名、ID名は簡潔である事が望ましく、アンダーバーの過剰使用を避けること(m_T10など)

文字サイズ・使用フォント

- ・使用する基本文字フォントはLucida Grande。代用、英字用としてCalibri, Helvetica, Arialを使用。
- ・使用する文字のカラーは#333を基本。見出しなどの部分は#444488,#ddddeeを使う事。
- ・文字フォントは適宜状況によって利用し、上記フォントのみを使用するとは限らない。
- ・文字コードはUTF-8を基準とし、システムとの連携がある場合は状況に合わせる。
- ・文字サイズは可読度を考慮した上、14pxを基準とし、13px以下には可能なかぎり下げない事。
- ・変更が多い項目である為、基本を確認・踏襲した上で状況に合わせる事。

画面設計の定義ルール②

DOCTYPE宣言・meta情報記述

- ・全てのページでDOCTYPE宣言を記述すること。
- ・全てのページで言語属性(lang属性)の指定を必ず行うこと。
- ・meta要素のcharsetには使用する文字コードを記述すること。
- ・meta name="〇〇〇"のrobots,description,keywords,copyrightは必ず設定すること。
- ・description,keywordsのには内容は各ページ毎に変えること。copyrightには年号を加えないこと。
- ・meta http-equivの記載も必ず行うこと。

レイアウト制限

- ・frame要素は使用しないこと。
- ・frame要素は要素内のページのみが検索結果に認識されてしまうと、ナビゲーションが表示されない。
- ・table要素は表組みとしての使用は可能。見出しにはth要素を使うこと。
- ・レイアウトとしてのtable要素の使用は原則禁止(tableレイアウトと言われるもの)
- ・table要素によるレイアウトはCSSによる部分との乖離が発生する為、問題が起きやすい。
- ・table要素によるレイアウトを行う場合には、必要な理由を必ず相互で確認すること。
- ・ファーストビューを意識してレイアウトする事。ファーストビューは横幅890px、縦幅620pxが一般的。

画面設計の定義ルール③

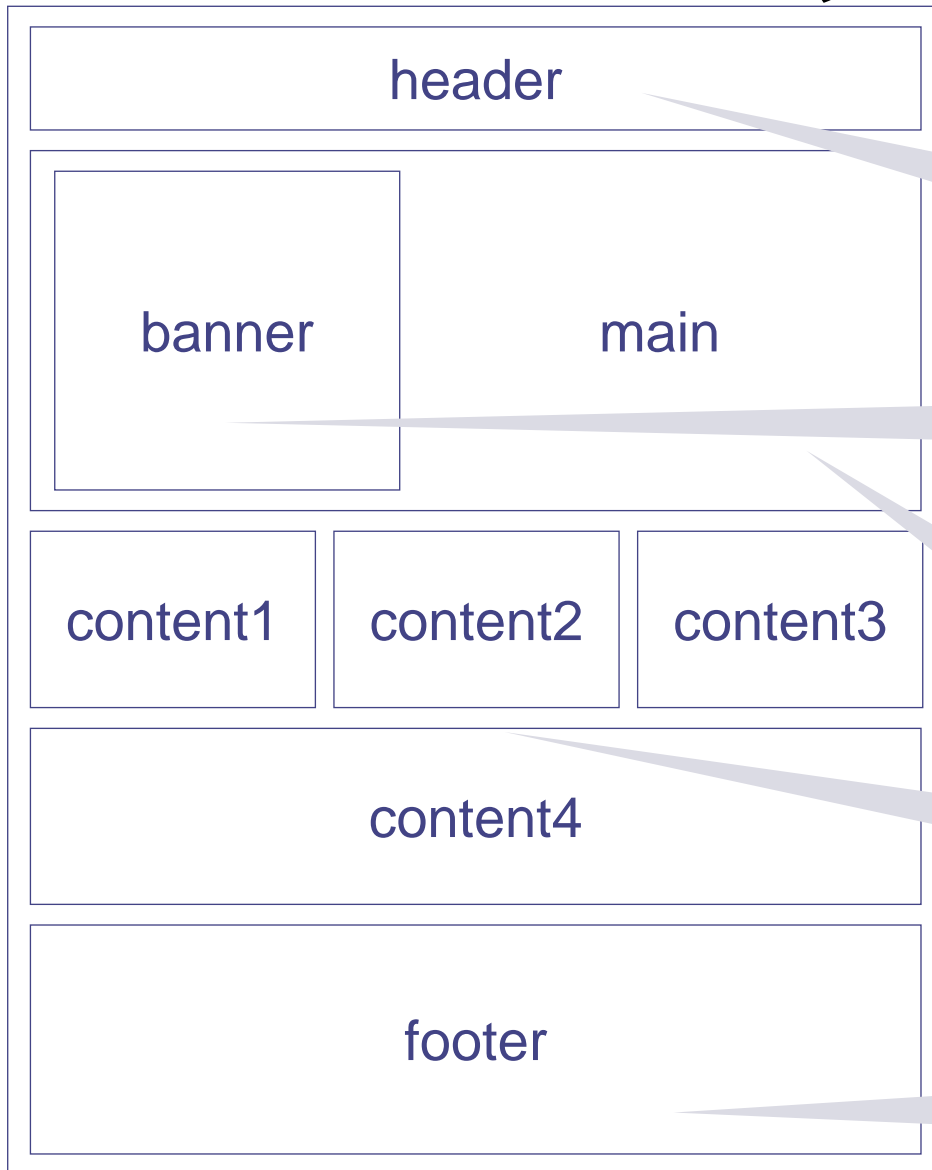
対応OS・ブラウザ

- ・IE6,IE7への過剰な対応は不必要。Safari,Firefox,Chromeへの対応を主軸にする。
- ・OSに関してはどのOSからでも閲覧できるようにすること。
- ・iPhoneなどのスマートフォンへの対策も考慮し、ブラウザチェックを行うこと。
- ・ターゲットユーザーを明確に策定し、利用されるであろうブラウザ全てに対応する。
- ・IE6,IE7などIE系は表示の不具合が発生しやすく、対応CSSも少ないため注意すること。
- ・どうしても各ブラウザに対応できない場合は、画像、プログラムなどで修正すること。

ディレクトリ構成

- ・各コンテンツページを同じディレクトリ内で管理しないこと。
- ・プランニングはプランニング、マーケティングはマーケティングのディレクトリ内で管理すること。
- ・各コンテンツ毎にディレクトリを作成し、その中で画像ファイルなどを管理すること。
- ・共通のコンテンツ、ファイルに関しては共有のディレクトリ内で管理すること。
- ・ただし、基本的に共有を作らないこと(削除した場合、共有していた全てが影響を受けるため)
- ・共有する場合には何処と何処が共有しているのかを明確化出来るよう仕組化すること。

A-1 トップページ



横幅は960px 縦幅は2500pxを限度とする。

header部にはロゴ、サイト名、メニュー。
メニューはアイコンなどを使い、視覚的に。

banner部にはコンテンツ内容を強調する内容。
または強調したい広告がある場合に活用。

main部にはインパクトある画像を使用。鳩。

contents部にはメインコンテンツを並べる。
更新履歴、制作実績なども配置。

footer部にはフッターメニューの設置と、縦幅の活用。
画像、背景の使用で立体的に。

サブページ基本構成

header

header部にはロゴ、サイト名、メニュー。
トップページと構成を決して変えないこと。

page title

page titleはインパクトが出るよう画像を使用。

breadcrumb list

パンくずリストの事。必ず各ページには挿入。

main

main部には各コンテンツの詳細。

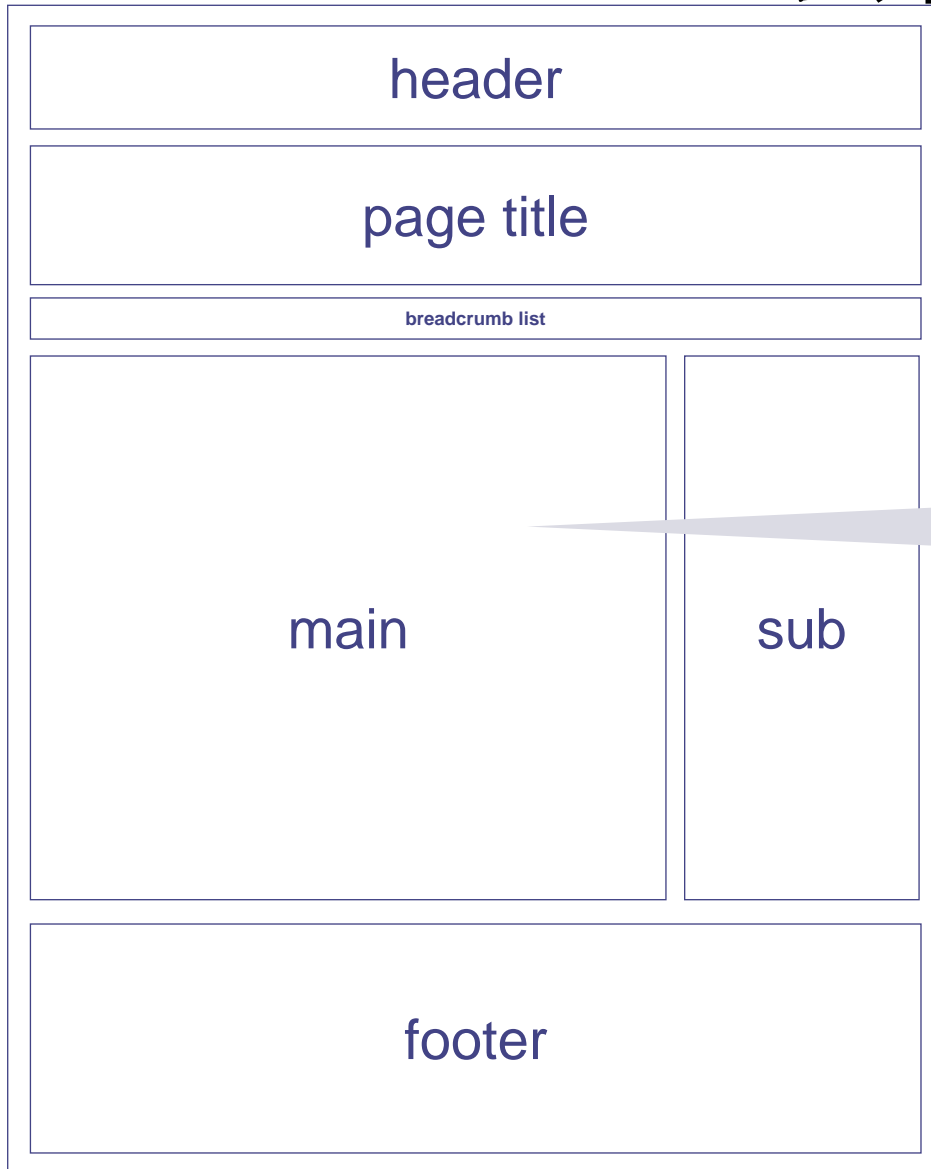
sub

sub部には別途コンテンツへの誘導部分。
単純なバナー配置ではなく、問い合わせへ、などの誘導やユニークな装飾を行って面白楽しく。

footer

footer部にはフッターメニューの設置。
トップページと構成を変えず、共通で使用する。

B-1 会社概要



会社概要のページには企業理念の挿入。
経営理念の挿入。各解説も入れること。
また代表挨拶へのページ誘導も行う。

会社の詳細を明記したものも挿入する。
ただ、現状は個人での運営になるため、載せれる情報
に限度がある事に注意。
情報量が少なすぎる場合、不信感に繋がることもある
為、個人でやっている事、協クリエーターがいる事、グ
ループ活動をしている事など、明記できることがあれば
出来る限り、詳細に記述する。

シンプルなページになりがちな為、文章だけではなく、
装飾などでミニマルながら、インパクトのあるページにし
ておきたい。印象に残るように。

装飾の都合上、場合によってはsub部を撤廃しても良
いかもしれない。幅を取ることで、自由度と目新しさ、イ
ンパクトを提供。

仕様書確定の合意

委託者〇〇〇と受託者△△△は、別紙契約書を基本としたうえで、本仕様書の内容について合意し、ホームページ制作について着手するものとする。

本仕様書に記載された内容に基づき、ホームページ制作を実施することに同意した。

平成 年 月 日

委託者

受託者